

仙台市若林区農地再生・地域活性化プロジェクト

一般社団法人 ReRoots

代表理事 広瀬 剛史

1. 事業の内容

1. 1 被災地復旧支援ボランティア

宮城県仙台市若林区東部沿岸地域における農業用地（主に）の復旧を目指したがれき撤去作業、及び農家の安定した営農再開に向けた農作業支援を実施しました。2013年4月～12月、2014年3月の10か月間ボランティア活動参加者延べ7257人
依頼受付案件数 103件



写真1 がれき撤去の様子

1. 2 市民農園の運営

仙台市若林区三本塚地区、荒浜地区の2カ所。



写真2 夏季の市民農園の様子

1. 3 若林区復興支援ショップの運営

2013年4月～2014年3月まで毎週土曜日、仙台駅前「仙台朝市」にて「若林区復興支援ショップりるまゝと」を出店しました。若林区被災農家の野菜を集荷し、学生スタッフが値付けから店舗販売までを行い、毎週営業後には来店者の反応を集約し、農家にお伝えしました。

2. 事業の成果と今後の方針

2. 1 被災地復旧支援ボランティア

団体の活動範囲内のがれき撤去作業は終了しました。現在も臨時的要請がある場合は、週末を利用して不定期に行っています。今後は地域の魅力や被災地の現状を発信し、若林区沿岸地域への継続的な人の往来を生み出す仕組み作り、その実施を長期的に行います。例えば、被災農家が作る野菜を被災者の移転先を中心に移動販売を行う、またインターネットの通信販売を実施し全国の方に提供する事業を拡大します。ツアー形式で参加者に継続的に農作業体験をしてもらう企画も進行中です。

2. 2 市民農園の運営について

以下の3つの目的は達成できました。

- ・農作業をやりたい方の生きがいつくりに貢献する。
- ・遊休地、景観を保全する。
- ・地域からの人の呼び込み、定着をはかる。

今後は説明会を継続的に開催し、利用者の拡大を図るとともに、定期的に利用者交流会を行い、利用者同士のコミュニティ形成を目指す計画です。

2. 3 若林区復興支援ショップ

年間継続して運営を行い、11月にはオープン1周年を迎えました。仕上売上ともに月10万円ほどの規模となり、テレビ取材（7/3日テレnews every）も受けました。4月に店舗移転が決定しました。今後は移転先を確保し、よりお客と地域を繋ぐ仕組み作りを推進する予定です。

連絡先

担当者氏名 金久保雅刀

住所(〒984-0033)

宮城県仙台市若林区荒浜字今泉 59-3

電話 022-762-8211

FAX 022-762-8211